

令和6年度第15回 教育委員会会議 会議録

- 1 日 時 令和6年12月9日（月）13：30～13：50
- 2 場 所 教育委員会会議室 ハーバーセンター4階
- 3 出席者 福本教育長
正司委員 今井委員 山下委員 本田委員 吉井委員
- 4 欠席者 なし
- 5 傍聴者 2名（一般2名・報道0名／報道0社）
- 6 会議内容

（福本教育長）

それでは、教育委員会会議を始めます。

本日は、議案2件、協議事項4件、報告事項1件です。まず、非公開事項についてお諮りいたします。議題のうち、教第30号議案、協議事項40については、教育委員会会議規則第10条第1項第2号により、職員の人事に関する事。報告事項1については、同項第6号により、会議を公開することにより、教育行政の公正かつ適正な運営に著しい支障が生じるおそれのある事項であって、非公開とすることが適当であると認められるものとして非公開としたいと思いますが、御賛同いただけますでしょうか。

（賛同）

（福本教育長）

ありがとうございます。

それでは、議事に入ります。

教第34号議案 神戸市教育委員会事務局組織規則及び教育機関の組織に関する規則の一部を改正する規則について

（福本教育長）

教第34号議案、神戸市教育委員会事務局組織規則及び教育機関の組織に関する規則の一部を改正する規則について、事務局より説明をお願いします。

（武田給食施設整備担当課長）

11月12日の教育委員会会議において承認いただきました神戸市立学校給食共同調理場条例の改正に係る議案につきまして、12月4日の市議会において議決されましたので、これに伴い神戸市教育委員会事務局組織規則及び教育機関の組織に関する規則の一部を改正す

るものでございます。神戸市教育委員会事務局組織規則の一部改正につきましては、これまで「学校給食共同調理場」と記載していたところを、条例に合わせて「学校給食センター」に改正いたします。また、教育機関の組織に関する規則の一部改正につきましては、「第一学校給食センター」を追加させていただき、別表の文章も条例にあわせた形で整えさせていただきます。

(福本教育長)

本件について、御質問ございませんでしょうか。

御意見がないようでしたら採決を行います。教第34号議案を承認させていただいてよろしいでしょうか。

(賛同)

(福本教育長)

ありがとうございました。

それでは、次の案件に参ります。

協議事項14 部活動の地域移行について

(福本教育長)

協議事項14、部活動の地域移行について、事務局より説明をお願いします。

(安田児童生徒課長)

11月末の教育子ども委員会におきまして、『「コベカツクラブ」のあり方についての方針』案を御報告いたしました。その際に市会議員の皆様からいただいた御意見をはじめ、教育委員の皆様、あり方検討委員会の委員の皆様、各競技団体の皆様からそれぞれいただいた御意見を踏まえまして、方針案を修正しております。

主な修正箇所のみ抜粋して説明させていただきます。まず、3ページを御覧ください。1-2. コベカツの特徴でございますが、前回の案では「勝利至上を押しつけない」としていた部分がございますが、誤った解釈につながる可能性もあったことから、表現を変更してございます。具体的には③の部分となります。

続きまして、6ページ目でございます。2-2. 「コベカツクラブ」の登録でございますが、前回は「適用範囲」という形にしてございましたのと、「社会教育を実施する団体」というような表現にしておりました。この表現は国のガイドラインの表現でありましたが、理解が難しいということもございましたので、表現を変更してございます。また、その他の項目で「コベカツクラブの意義」と別項目にしていたものもございましたので、まとめ

て『「コベカツクラブ」の登録』という表現に変更してございます。

続きまして、7ページ目でございます。2-5. 効果的な指導でございますが、こちらにつきましても、当初の表現が「科学的・合理的な内容、実効性のある指導方法」とハードルが非常に高いような表現となっておりましたので、表現を変更しまして今回の案としてございます。

大きく変更したところは以上でございます。ほかの細々としたところについては割愛させていただきます。

(福本教育長)

様々な御意見を踏まえ修正し、最終の案が出来上がりました。御質問等ございましたら遠慮なく御発言ください。

(正司委員)

修正が加えられて、より誤解を招きにくくなっていると思います。今後、この方針を公表した後はどのような流れになりますか。また広報もしないといけないと思いますので、その辺りを少し教えていただければと思います。

(安田児童生徒課長)

こちらを公開すると、新たな質問や御意見が出てくると思います。質問をいただきましたらお答えしていきますし、ホームページにも様々なQ&Aを載せておりますので、その中でも適宜補足できたらと考えております。

(正司委員)

様々な御意見をお寄せいただけるような形で公開していただければと思います。

(今井委員)

これまでも議論がありましたが、予算に絡む事項やほかの制度とも絡む事項ということで、今回の案には反映されていない苦情処理の問題や保護者の負担軽減の問題についてはどのように進めていく予定でしょうか。

(安田児童生徒課長)

この方針の中では、それらの対応の大まかな枠組み部分について記載させていただいております。今後、どの程度捕捉できるのか難しいところはあるかもしれませんが、予算事項やほかの制度についてアップデートがありましたら、来年度以降の予算説明の中で説明させていただきたいと考えています。また、ホームページでの情報発信をこれから強化していきますので、その辺りも活用しながら、なるべく分かりやすく説明できたらと考えて

ございます。

(今井委員)

おそらくその辺りが保護者や皆さんの関心があるところかと思しますので、ぜひ詳しく説明いただければと思います。

(山下委員)

これで始めることができるということで御手配に本当に感謝申し上げたいと思います。1点、私が気になっておりますのは研修のことで、やはり充実した研修にさせていただくことが重要なポイントだと思って拝見しております。今後で構いませんけれども、研修の実施状況について、計画段階のお話でありますとか、回数や内容、実施してみても状況等をお教えいただければと思います。もし今の段階で、何かお考えのことがありましたら、補足で御説明いただけるとありがたいです。

(安田児童生徒課長)

その辺りのことも予算事項になりますので、現時点ではまだ細かく御説明することができませんが、おっしゃるとおり、計画としてどういう形で研修をしていくかということや、どういったことを研修する必要があるかということについてももう少し分かりやすく説明できたらと思います。実際に研修を受けていただく方が何をすれば良いのか分からないということにならないように、上手に発信していきたいと考えております。

(山下委員)

保護者の皆様が安心して生徒を預けていただけるような形にさせていただければと思います。

(福本教育長)

ほかに御質問等ございませんでしょうか。

ありがとうございました。

それでは、次の案件に参ります。

協議事項21 防災教育について

(福本教育長)

協議事項21、防災教育について、事務局より説明をお願いします。

(都築学校教育課長)

震災30年ともしびプロジェクトの件でございます。こちら8月21日の教育委員会会議で御協議いただいた件でございますが、1.17に向けて取組が進んでおりますので御報告させていただきます。今年度、「みつめる」「いかす」「つなぐ」の3つの視点でともしびプロジェクトを展開しております。具体的な取組でございますが、まず、子供たちの児童生徒用GIGA端末のロック画面に、防災を意識できる画面を表示しております。また、防災教育副読本「しあわせはこぼう」の改訂や、保護者から次世代へ伝えたい防災メッセージの募集をすぐーるで行いました。阪神・淡路大震災以降に防災教育をどのように受けていたか、次世代へどのようなメッセージを送りたいかということについて、応募数207通いただいております。本当に良いものばかりですが、発表するものを厳選しまして、ホームページや地域防災イベントで掲示を行うことを考えております。

次に、学校園での取組でございますが、灘すずかけ幼稚園の防災リュックづくりや、若宮小学校の防災啓発ロック画面を活用した授業。また、最近マスメディアによく取り上げていただいておりますが、太田中学校のダンスDE防災や、鷹匠中学校の合唱曲『ともしび』の制作等があります。あと、一つ面白い取組として、桜の宮中学校で観客参加型の防災演劇に取り組んでおります。

(3) 地域防災イベントへの参加については、合唱曲や演劇等を最後に発表するという形で取り組んでおります。

(福本教育長)

なお、今後の方針に係る内容については、教育委員会会議規則第10条第1項第6号により、会議を公開することにより教育行政の公正かつ適正な運営に著しい支障が生じるおそれのある事項であって、非公開とすることが適当であると認められるものとして、後程非公開の場で協議したいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

(賛同)

(福本教育長)

ありがとうございます。では、今後の方針以外の部分で御質問等ございますか。

(今井委員)

本当に様々な形で良い取組をしていただいているなと思って拝見させていただいております。防災啓発ロック画面の配信ということで10月と12月の画面が載っていますが、このほかの月も含めて、月替わりで防災関係の画面が表示されるようになっているのでしょうか。

(都築学校教育課長)

基本的には毎月変わっていく形です。子供たちもパソコンを開けた瞬間に自然と興味を持っていただいております、こちらを活用した授業にも繋がっております。非常に良い取組かと思っております。

(福本教育長)

他に御質問等ございますか。

日々、割とマスコミにも取り上げていただいております、順調に進んでいる状況です。

ありがとうございました。

それでは、次の案件に参ります。

協議事項41 特別支援教育の充実について

(福本教育長)

協議事項41、特別支援教育の充実について、事務局より説明をお願いします。

(甲斐特別支援教育課長)

自校通級指導教室の設置の拡充ということで、まず現状について御説明させていただきます。令和2年度から地域の小・中学校において通級指導が受けられるようにということで、自校通級指導教室の設置に取り組んでまいりまして、目標としては、令和8年度末までに約100校の設置を目指しているところでございます。現時点で58校に設置をしております。設置校の選定方法としては、通級による指導の対象となり得る児童生徒の人数や、個別の指導状況、指導計画の作成状況、学校における運用体制等々を加味して総合的に判断し、設置する学校を選定しております。また、昨年度より教員1名が兼務という形で近隣の複数校を指導できるよう、規模が比較的小さな学校も選定しております。下の表を御覧いただきますと、※印で書いてある学校が全部で五つあるのですが、そちらについては兼務校という形で、1人の教員が複数の学校を同時に指導することで、できるだけ自校で通級指導が受けられるよう取り組んでおります。

(福本教育長)

なお、今後の方針に係る内容については、教育委員会会議規則第10条第1項第6号により、会議を公開することにより教育行政の公正かつ適正な運営に著しい支障が生じるおそれのある事項であって、非公開とすることが適当であると認められるものとして、後程非公開の場で協議したいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

(賛同)

(福本教育長)

ありがとうございます。では、今後の方針以外の部分で御質問等ございますか。

(本田委員)

昨年度より教員1名で近隣の複数校を指導できるようにしているということですが、時間等具体的にどのように回られているのでしょうか。

(甲斐特別支援教育課長)

曜日等を分けています。北区では大沢、好徳、淡河の三つの小学校を回っているのですが、1人の教員が曜日を決めて時間割を組み、通級指導に対応している状況です。

(本田委員)

ということは、その曜日だけは先生がおられるので、通級指導教室が使えるということですか。

(甲斐特別支援教育課長)

はい。そういった形です。

(山下委員)

(1)のところで、「設置にあたっては、教員の専門性も必要となるため、研修等を通じ」ということで、非常に手厚いサポートもしていただいているようで大変ありがたいと思います。この場合の「教員の専門性」について具体的な例を教えてくださいとありがたいです。なぜかと言うと、これまでの先生方の学校での考え方等と少しギャップがあるところもあるのかなということが気になっております。新しい専門性として、今から他の先生方にも広げていただけるような部分もあるのではないかと思います、お伺いしております。

(吉田特別支援教育推進担当課長)

研修についてはカテゴリー別に分けておまして、初年度の先生、2年目、3年目、それ以上ということで、カテゴリー別に研修の内容を変えております。神戸市は、拠点校通級という形で古くから指導しておられる専門性のあるベテランの先生もたくさんおられますので、そういった先生に講師になっていただくなど、様々な角度から研修できるような工夫はさせていただいております。

(山下委員)

障害の種別に応じた専門性というような理解でよろしいでしょうか。

(吉田特別支援教育推進担当課長)

はい。拠点校の先生が講師になる場合もありますし、大学の先生や医療ドクターのような、普段子供たちを見ておられて、様々な分野に長けておられる方も講師として来ていただき、研修させていただいております。

(山下委員)

最近話題になっている発達障害等もカバーされている形になりますか。

(吉田特別支援教育推進担当課長)

おっしゃるとおりです。

(福本教育長)

他に御質問等ございますか。

ありがとうございました。

公開案件は以上となりますが、教育委員の皆様から教育委員会会議で取り上げるべき事項について、御意見はございませんでしょうか。

それでは、本日の公開案件を終了いたします。

閉会13時50分